

2016年度「北海道青少年中国派遣事業」(北海道国際交流・協力総合センター主催)により、中国派遣研修に行ってきた西高1年生のN君の研修報告です。



8月8日(月) 徳強学校訪問。ハーバードなどの有名海外大学を目指す年代の学生とALTの英語の授業を受けるなど交流。



8月7日(日) ハルビンでは、ロシアと中国の両方の文化が混ざったストリートを見学。この後、黒竜江省外事弁公室の方と食事。

8月6日~14日(8泊9日)の期間で、中国各地へ行ってきました。



ハルビンへ

8月6日(土) 新千歳→羽田→ハルビン(黒竜江省)の移動が終了。



8月14日(日) 北京→新千歳

札幌へ



8月9日(火) 今回の研修の目玉ともいべき兵馬備へ。教科書に載っていた写真から想像していたものをはるかに超えるスケール。大迫力でした。多くの人が来ていました。



8月13日(土) 北京王府高校を訪問し、現地の学生とともに授業を受けました。このあと万里の長城へ。ここでもスケールの大きさに圧倒。



8月10日(水) 西安交通大付属中学校で交流。カンフー体験。

上海へ



8月11日(木) 豫園と上海博物館を訪問。豫園は日本の京都のような雰囲気でした。上海青少年活動センターでは、小学3年生がパワーポイントを使っていたことにびっくり。

北京へ



8月12日(金) 故宮と天安門広場を訪問。とにかく建物の大きさと広さに圧倒されました。やっぱり中国はでかい!

〔感想〕

実際に中国に行ってみて、北京では、やはりPM2.5の影響が空気が悪く曇っていました。しかし、上海ではそれほどでもなく晴れていました。中国の現状を少し確かめることができました。また、小学3年生がパワーポイントを使うなど、現地の高いレベルの教育や、その教育を受けている同世代の若者たちから大きな刺激を受けました。教科書から学ぶこと以上の何倍もの大きさのスケールで学べ、とてもワクワクしました。